

金属プレス研修塾 閉塾式

日 時：令和7年7月18日（金）午後3時～5時00分 塾生慰労会：5時30分～7時30分
場 所：たかつガーデン「鈴蘭」 塾生慰労会：杯杯天山閣（中華料理）
内 容：1部 講演会 講 師：四宮徳章先生（大阪産業技術研究所 加工成形研究部 主任研究員）
テーマ：「プレス加工の基礎と最新技術」
修了証授与式 林会長から塾生一人ずつ修了証を授与（塾生17名）1名欠席
2部 塾生交流会（慰労会）
参 加 者：27名（塾生17名） 塾生慰労会参加者：25名（塾生17名）

大阪金属プレス工業会が企画した『金属プレス研修塾』2024年度（2期生）が1年間の活動を終えてめでたく閉塾式を迎えました。

金属プレス研修塾2期生は昨年9月に開講式と濱田恵氏（濱田プレス工藝 社長）の講話でスタートし、11月は神戸製鋼所（製鉄所・高炉）、2月は近江産業（コイルセンター）、3月は明星金属工業（金型メーカー）、5月は濱田プレス工藝（プレスメーカー）をそれぞれ訪問して見学と研修をしてプレス製品が出来るまでの川上から川下までの流れに沿って学びました。



冒頭の挨拶に立つ朝田副会長兼委員長



四宮先生による講義風景（質疑応答）

閉講式では1時間程度座学による研修をしました。講師は四宮先生（大阪産業技術研究所）に昨年に続いてお願いしました。昨年は講義内容が難しいとの感想が多かったことから、今年は「プレス加工の基礎と最新技術」というテーマで研修塾にふさわしい内容にして頂きました。準備頂いた資料も事前に塾生に配布してプロジェクターで紹介しながらご講義をして頂きました。内容は材料の違いによる加工、金型成形シュミレーション、金型の5軸加工、サーボプレス、3Dプリンター、3Dスキャナーなど加工の基礎知識やプレスの周辺技術の紹介など多岐にわたるものでした。講義のあとの質疑応答の時間にも多数の塾生が質問をして、大変充実した講義でした。

四宮先生の講義が終わり、修了証の授与式を行ないました。金属プレス研修塾は1年間を通して6回の研修がありますが、この閉塾式までの5回の内4回以上の出席（レポート未提出も欠席扱い）の方に修了証が贈られます。2期生は修了証と卒塾記念にボールペンも一緒に贈呈いたしました。

修了証の授与は当工業会の林代表理事（会長）から塾生一人ずつに登壇して授与を行ないました。修了証を受け取った塾生は林会長と並んで記念写真を撮り、壇上から会場の参加者に向けて1年間の感想や印象などを述べて頂きました。



林会長から修了証を授与



塾生から1年間の感想などスピーチ

修了証の授与式が終わり最後には林代表理事（会長）が統括の挨拶を述べました。「楽しかった、参加して良かった」という塾生の感想に会長も感嘆の念を述べました。そして1年間の塾生の活動に対し、関係者の労をねぎらう言葉で締め、閉塾式は無事に終了しました。

閉講式はこれで終了となりましたが、次に会場を近くの飲食店に移して塾生と関係者の懇親慰労会を行いました。塾生同士は1年間の活動を通じて絆も深まったようでその後も二次会に行こうとか、今度同窓会をしようとかの話も出ている様子でした。金属プレス研修塾は次の第3期へと引き継がれます。



懇親慰労会の様子（4枚）